

えいせい

2012年度

衛生局支部 病院支部重点要求書

衛生局、病院両支部は、2012年度予算・人員要求書をまとめました。東日本大震災に福祉保健局・病院経営本部の職員が、被災者の救助、被災地の復興・復旧のため多数派遣され、多大な活躍を行ってきました。

私たちは、大震災を教訓に、大都市で地震など災害が起こった時に被害を最小限に食い止めることも含め要求書を作成しました。

1 保健・衛生・医療の観点から災害対策を見直すこと

災害対策条例について、震災対策の第一を「自己責任原則」とする立場を改め、災害を最小限にする行政の責任を果たす立場を明確にし、地域防災計画について、最悪の規模の地震を想定し抜本的に見直すことを要求します。

2 都立病院の運営形態は都立直営として運営すること

PFIによる建設や運営の不具合や問題点が明らかになっています。保健医療公社病院では看護師の欠員による病棟閉鎖は解消されたものの無理な運営が続いています。都民や職員の意見を聞き、PFIや保健医療公社の運営をやめ、地方独立行政法人化検討や実施を中止し、都立病院と

して運営することを要求します。梅ヶ丘病院跡地での小児精神科病床の確保と多摩地域での小児医療の充実を要求します。

近年、吸入器を携帯して在宅になる障害児は急増しています。しかし、在宅の生活を支援する体制は脆弱です。そうした中、都立の療育施設は大きな役割を持っています。

6 (財)医学総合研究所の民主的な運営を行うこと

健康安全センターの「健康危機管理センター」(仮称)構想を見直し、新たな人材を確保して試験検査・研究のための技術継承ができる体制作りを進め、都民の保健、衛生、安全等に関わる試験研究機関として幅広い分野の試験検査、調査研究ができるよう要求します。

逆循環※で勤務間隔の確保が困難な現行の三交替も、平均18時間46分(二交替疲労度調査より)にもなる二交替も働き続けることができないこととは明らかです。日本看護協会も16時間二交替夜勤は、問題があると指摘しています。

また、建設・運営についてPFI導入しないこと。都内の療育施設はまだ不足しています。都として療育施設の建設を計画すべきです。

4月に3つの旧研究所(神経研・精神研・臨床研)は、東京都総合医学研究所として一つに統合されましたが、運営形態の多くを先行移転した臨床研の方式そのままに新研究所へ持ち込んでいます。その是々非々を吟味し、旧3研究所間のコンセンサスが得られるよう民主的な話し合いをすることを要求します。

福島原発の放射能汚染調査等に十分な正規職員の人員・予算措置を行うことを要求します。

私たちが東京都が、他の府県に先立って、医療安全の確保のために、看護師の勤務時間を正循環※の三交替に実現することを要求します。

地域保健法施行から15年目となり、健康自己責任論の強まりの中、保健所統廃合や機能の縮小など公衆衛生機能が

また、近年管理団体に多く導入されている任期付きで固有研究員の採用に反対します。これらの固有職員は、身分が不安定で、高学歴ワーキ

ングプアの予備軍となっています。使い捨てでなく、パフォーマンス採用を行うべきです。

4 療育施設の運営は直営とし、在宅支援に充てられるよう充実させること

5 公衆衛生を充実強化すること

また、近年管理団体に多く導入されている任期付きで固有研究員の採用に反対します。これらの固有職員は、身分が不安定で、高学歴ワーキ



昨年の予算人員の交渉

8 育児短時間勤務、夜勤免除等、働き続けるための制度を誰もが使え、職場に実質欠員が生じないような人員配置を行うこと

働き続けるために育児短時間制度を利用する職員が多くなりました。しかし制度を利用した後の業務を行う十分な人員の手立てがなく、残された職員にしわ寄せされています。育児短時間制度や夜勤免除を利用して業務に支障がでないよう代替の人員増を要求します。

看護職場の夜勤に欠員が生じないよう要求します。
9 都立病院の7対1看護基準は病床利用規制や他部門からの補充ではなく、増員で行うこと

看護師の定数増なしに7対1看護基準を導入しています。そのためICUなどからの助勤や人員剥がしも行われ、委員会への参加や年休取得も困難になっています。また、入院待ち患者が多数いるにもかかわらず7対1看護基準を取得するため病床稼働率調整のための規制が

されています。定数増による7対1看護の実現を要求します。

10 精神疾患の増大に伴い、精神医療体制の充実を図ること

診療報酬制度では一般科に比較して精神科医師・看護師の配置数が低く抑えられています。他の都立病院並みの水準に引き上げるために、身体合併症、救急病棟の看護師配置を10対1とし、医師の増員と特に措置入院や身体拘束に不可欠な精神科指定医の増員を要求します。

11 業務に見合った人員配置で過重労働を一扫し、健康で働き続けられる職場をつくること

過酷な人員削減や強引な組織統合により、超勤が増大し、多くの職員が疲弊しています。団塊世代の大量退職と採用抑制のために年齢構成に不均衡が生じており、仕事の専門性や技術の継承も困難となっています。

メンタルヘルス不全による休職者の増加、パワー・ハラスメントの顕在化、働くモ

チベーションの低下などをなくし、健康で働き続けるために、業務に見合った人員配置を要求します。再任用については定数外とすることを要求します。

12 非正規職員の待遇改善と委託業務の見直しを行うこと

正規職員の不足を非正規職員で補い、ほぼ同じ仕事をしても待遇は低い官製ワーキングプアが職場に広がっています。

また、病院、福祉施設、保健所等で行われている委託業務の中には「偽装請負」と言われかねない実態があります。非正規職員の待遇改善、委託業務の見直しを行うよう要求します。

13 公契約条例を早急に確立すること

石原都政は、公共サービス为民間委託や民営化など強行していますが、委託労働者の賃金は最低賃金、労働環境は労働基準法すれすれです。

委託労働者の生活と権利を守り、これ以上の委託をやめ、公契約条例を早急に確立

することを要求します。

語彙解説

逆循環⇨看護師などの勤務は、通常、日勤・準夜・深夜の8時間三交替になっています。日勤から深夜、準夜から日勤はその間隔が8時間しかなく、残業が入るとその間隔がさらに短くなります。正循環⇨勤務と勤務の間隔を十分にとって体力や気力の回復をはかるため、例えば、日勤したら次の日は準夜、準夜をしたら次の日は休みで深夜勤務などとする。ただしこの勤務を常態化するためには、病棟勤務者24名を最低でも3名以上の看護師の増員が必要となります。

今後の日程

- ★病院・衛生局支部野球大会
日時 8月6日(土)
 - ★原水禁世界大会
日時 8月7日～9日
 - ★自治労連大会日程
日時 8月20日
(医療部会・公衆衛生部会・女性部等総会)
 - ★自治労連大会
日時 8月21日～23日
 - ★囲碁大会
日時 9月17日(土)
- 場所 日本棋院八重洲囲碁センター

生協からのお知らせ

8月9日(火) お昼休み

☆茶豆

300g 組合員470円
その他490円

☆ブルーベリー

100g 組合員280円
その他300円

衛生局支部書記局 27 階南側

※本庁舎以外で取り組む場合は予め連絡ください。

第4回支部ついで大会

- 1 日時 8月27日(土) 午前10時
 - 2 場所 奥多摩大丹波国際ます釣場
(青梅線川井駅下車徒歩25分)
 - 3 参加費 おとな1,000円
子ども(中学生まで)500円
 - 4 昼食 焼きそば・フランクフルト
鱒・飲み物など用意します。
- ※おにぎり程度を持参してください。